

Course number		U-LAS06 20032 SJ43									
Course title (and course title in English)		経済原論基礎ゼミナール Introductory Seminar on Principles of Economics			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, DAIKOKU KOUJI				
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Jurisprudence, Politics and Economics(Issues)					
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A		Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		seminar (Face-to-face course)		Year/semesters		2024・Second semester	
Days and periods		Mon.5		Target year		All students		Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]											
経済学の境界領域に横たわる問題を拾い上げることで、経済学を相対化しながら、経済そのものの本質・原理を探る。											
[Course objectives]											
資本主義の基礎的な仕組みを理解するとともに、通説を疑う姿勢を身に着ける。											
[Course schedule and contents)]											
資本主義システムは、経済的合理性のみにもとづく閉鎖体系ではなく、それを取り巻く社会的環境に開かれている。したがって、労働力・土地・貨幣といった境界領域の分析が不可欠である。とりわけ貨幣においては、経済と社会の矛盾が複雑なかたちで現れる。しかし経済学にとって貨幣は鬼門である。このゼミでは、貨幣を含め経済学の境界に横たわる諸問題を丹念に拾い上げ、経済学の正統を相対化しながら経済学原理への導入を図る。経済思想、社会思想を広く取り上げる前期のILASセミナー：経済思想を承け、後期においてはより理論的な問題を取り上げる。以下のような課題について、それぞれ2～3週授業をする予定である。あるいは年度に応じて2～3の課題を集中的に取り上げることがある。											
1．資本の統治と新自由主義的統治 2．現代の貧困と資本の過剰 3．宇野弘蔵の純粋資本主義論と方法の模写 4．廣松渉の物象化論と価値形態論 5．柄谷行人の交換様式と交換過程論											
[Course requirements]											
前期「ILASセミナー：経済思想」を履修しておくことが望ましい。											
[Evaluation methods and policy]											
平常点評価（出席状況、報告内容、授業内発言）50点、学期末レポート50点により、総合的に評価する。											

Continue to 経済原論基礎ゼミナール(2)											

経済原論基礎ゼミナール(2)

[Textbooks]

Instructed during class

[References, etc.]

(References, etc.)

マルクス 『資本論』 (国民文庫) ISBN:978-4272802517

宇野弘蔵 『経済原論』 (岩波書店) ISBN:978-4003415122

大黒弘慈 『マルクスと賃金づくりたち：貨幣の価値を変えよ (理論篇) 』 (岩波書店) ISBN:978-4000253215

その他、授業中に適宜紹介する。

[Study outside of class (preparation and review)]

『資本論』を各自読み進めることが望ましい。

[Other information (office hours, etc.)]